

# 朝日の山並み



所報 第183号  
(令和6年6月)

山形県朝日少年自然の家  
《指定管理者》(株)ヤマコー

990-1101 西村山郡大江町大字左沢字楯山 2523-5  
TEL:0237-62-4125 FAX:0237-62-4126

## 団体利用の様子から



5月11日は、寒河江第二幼稚園の親子ピクニックでご利用いただきました。その活動の中で、朝少に自生している野草を採って、ヨモギだんご・ヨモギやウコギ等の天ぷらを作って、親子で味わっていました。特に、天ぷらを食べていた子どもたちが、ほろ苦くても「おいしそうに」、また、「もったいなさそうに」食べている姿を見せており、とても印象的でした。

食育にもつながり、この朝少の自然を「食」という形で感じてもらえる素晴らしい活動でした。朝少の自然を満喫していただけたのではないのでしょうか。



自然を感じる体験

5月8日に長崎小学校の1年生が春探しに来てくださいました。あいにく肌寒い天気だったのですが、楽しく活動していました。別れの集いで4人の子が感想を発表してくれました。4人とも「楽しかったです。」と発表しました。すると、ある子が「ぼくは、楽しかったじゃなく、うれしかった。」と呟きました。何がうれしかったのか気になったので、その子に聞いてみました。すると、「探検ができてうれしかった。普通では、したくても探検のようなことができないから。」という声でした。

きっとこの子は探検(冒険)のようなことをしてみたいという願いがあったのでしょう。その願いが叶って「うれしかった」のだと感じました。

そういった探検(冒険)の雰囲気味わえてもらったのであれば、日々環境整備をしているスタッフ一同も「うれしい」と感じているところです。

「うれしい」の意味

5月18日に「段ボールオーブンでピザを焼こう」が行われました。196名70家族の申込があり、抽選の結果20家族70名の参加となりました。家族そろって1つのものに向かって協働している素敵な姿を見させていただきました。そういう時間を提供できてよかったと思っています。



## 朝少の自然あれこれ



ウスバシロチョウというチョウです。モンシロチョウの仲間ではなく、アゲハチョウの仲間です。5月上旬にしか姿を見ることができません。キャンプ場付近で飛んでいます。ふわふわとゆっくり飛ぶので、観察しやすいチョウです。ムラサキケマンやヤマエゴサク等に産卵します。

ガの仲間は繭をつかって蛹になるものが多いのですが、チョウの仲間は、ほとんど繭をつくりません。ウスバシロチョウの幼虫は繭をつくりその中で蛹になる珍しいチョウです。

体験・経験により人が成長するという価値は「不易」です。ぜひ、体験・経験の場としてこの朝日少年自然の家をご利用ください。

朝少の企画事業等の情報はコチラ👉

ホームページ

インスタグラム



@ASASYO\_YAMAGATA